

JA なめがたしおさい波崎青販部会がピーマン促成栽培生産者向け講習会を開催

令和7年6月20日（金）、JA なめがたしおさい波崎支店において、JA なめがたしおさい波崎青販部会温室部全体会議が開催され、ピーマンの促成栽培を行う部会員34名が参加しました。

促成栽培は約10か月間栽培する作型であるため、線虫による被害を受けやすく、減収の要因となっています。その対策として、茨城県も育成に参画し、昨年12月から種苗供給が開始された線虫抵抗性品種「NR みおぎ」の品種特性や利用上の注意事項について説明しました。

また、収量向上を目的として、ハウスフィルムの清掃・交換による光環境の改善や炭酸ガスの施用効果、天敵の効果的な活用方法について説明しました。

参加した部会員からは、「NR みおぎとみおぎの果実はあまり違いがないから活用したい」、「ハウスを清掃して光環境を改善したい」等の声が聞かれました。

普及センターでは引き続き、生産者への情報提供を行い、高品質で安全・安心なピーマン生産を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）

